

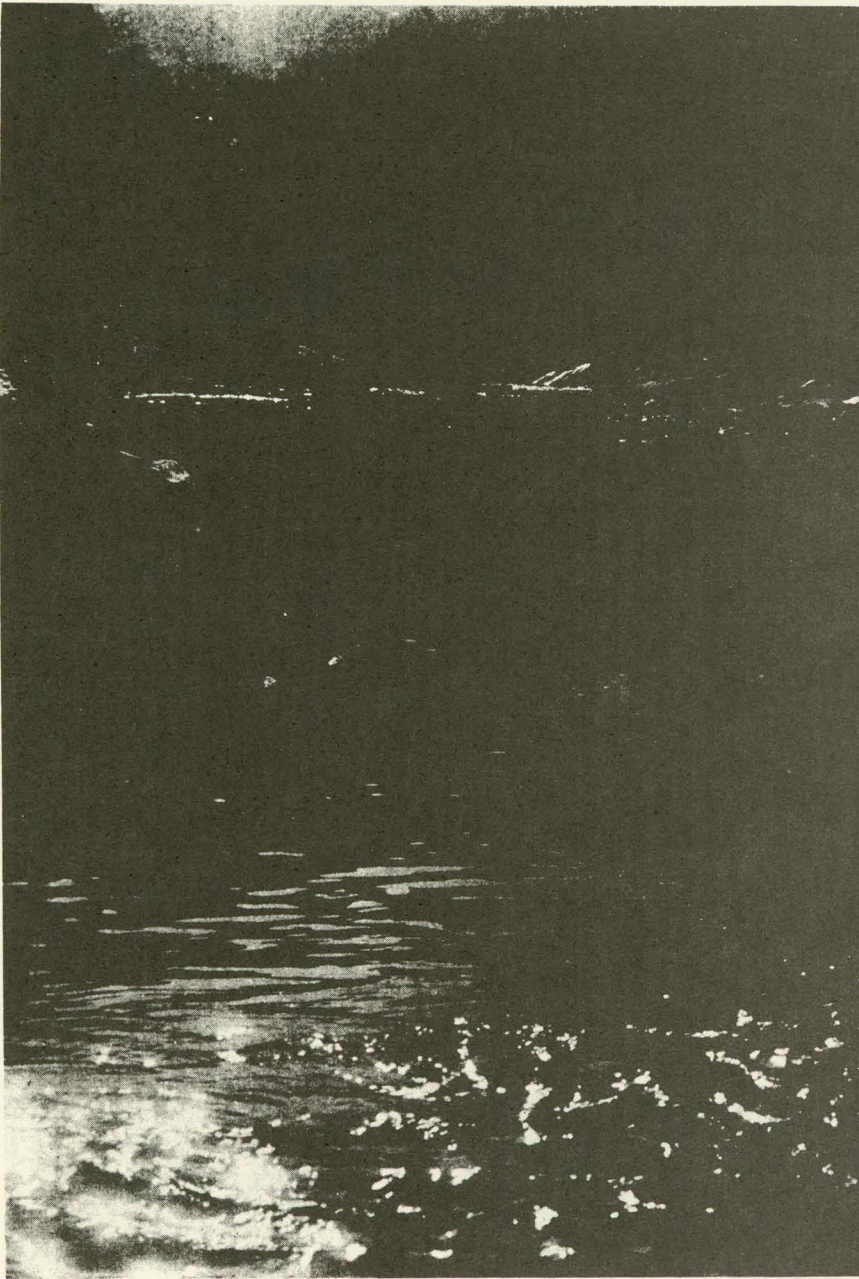
昭和47年
1月1日
発行
No. 144

広報

とうえい

発行 東栄町役場
編集 企画課
愛知県北設楽郡東栄町大字本郷
字上前畑25 TEL.東栄◎050147

印刷 株式会社水鳥印刷所
豊橋八町通 ☎4587



れい 黎
めい 明
(よ あ け)

わが町に

いま黎明の時きたり

輝やける陽光のもと

新世紀への開扉あり

自然なる大地より

湧きいずる清水の

生命の水に讃歌あれ

われら過疎の町に生くるもの

未来の建設に手を染めん

若者よ ひとり立て

君が未来の使者なれば

わが郷土に理想みのり

建設の息吹き燃えたたん

▽一九七二年はこれら一連の水資源開発に意欲的に取り組む、住民生活改善の基本から実現してゆきたいものです。
「今年こそは」
この言葉を住民のひとりひとりが、かけ声に終ることなく一年後に見事な汗の結晶をみたいものです。

▽川べりにたえず流れる水は水面を眺めるとき、そこには水からのさまざまな発想が湧いてきます。町内には大小あわせて数多くの河川がありそこを片時も休むことなく水は流下し続けているはず。この豊富な水はあくまでもわれわれが利用すべきものであり、いたずらに下流へ送るべきではないでしょう。

▽すでに町は昭和四十五年において総合計画における水資源の利用、すなわち大系的な水道計画を立案しています。近代的な文化生活の基本となる水を最大限に供給しようと本年度は水利問題に本格的に取り組み、いく姿勢でいます。近代科学の急速な進歩のなかで公害に悩むわれわれは、今一度科学の原則にかえて自然の産物である水をこの地域の特性をいかして最大限に利用すべきではないでしょうか。

「決定した計画は実行しなければならぬ」。これも行政の原則です。

ニュース

卓描

年頭のことば

果てなき夢の具体化を



東 栄 町 長
原 田 嘉 美

町民のみなさま、明けましておめでとうございませう。思えば昨年の中期より世界は政治的にもまた経済的にも大きく変動いたしました。

ら、体制のたてなおしと調整が急がれています。東栄町にとりましても、これらの影響は直接的には関係は現われ、諸情勢のきびさしに對し、思いを新たにすべきときと存じます。

申し述べたいことは数多くございませうが、年頭に際し特に当面する事柄について二、三触れてみたいと思ひます。

町内中学校の統合に關しましては昨年の広報十月号に掲載いたしましたより、昭和五十年四月一日統合を目標として建設位置を本郷の宮平地内に決定し、昭和四十六年度内に用地を確保することになりました。

昭和四十七年より四十九年にわたつては校地の造成および校舎、付属施設の建設整備を図る方針が決まりましたが、これらの経過における町民各位の深い認識とご理解には感謝申しあげます。

また、この計画の実現にもなる種々の要件やご要望にはじゅう分ごたえるべくベストをつくすことをお誓ひいたしますので今後いっそうのご協力をおねがい申しあげます。

一方、当面する教育の諸問題も、その発想となるところは今發明であつたはずで、これらの方法が文明の急速な發展によつて時代に適応できず「古き施設」として消えていつたことはいさかたないといつても、その発想となるところは今發明であつたはずで、

水資源活用の周辺

企画課

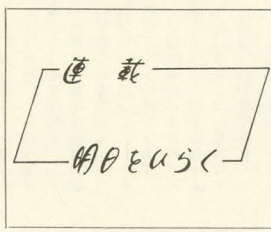
人間の生活に絶対欠くことのできない水。その「生命の水」がわれわれの町から近代化された都市部へと大量に送り込まれている。だが、その水源地である山間地の住民は、いったいどれほど水の利益を受けているだろうか。

これがいま、新しい年を迎えて総合水利計画に取り組もうとする私たちの合言葉です。私たちは自然を保存する心を忘れず、超高度化された近代社会の一部に生活する以上、自然をなして流れる河川の水といえども最大限に利用する時代に到達していることは述べるまでもないでしょう。

しかも、これら自然の恩恵が

現在のようになすべて近代化された都市部へ多く注がれ地元の住民は、いまだに水に悩む生活をしてのことこそ、まさに現代の奇病と断言したいのです。そこで私たちはいまだ敢然としてこの現代病に、いどみ、住民のすべてが少くとも文化生活の基本ともいえる豊富な水の供給を受けられるよう努力しなければなりません。

最近水利用に関する問題は、国内の外を問わずさまざまな形で提起されています。考えてみれば私たちの祖先はその時代なりのあらゆる英知をこぼして水利の方法を開発してきてきました。エネルギー源として活用された「水車家」とか「ぼつとり」など、まさにこの時代の画期的な



のなかでも公立高等学校の学区制が問題化されておりますが、これなど学区の細分化により高校選択の機会を失ひ、いっそう過疎化の要因ともなりかねますので各界のご理解を要望して善処を強く求めるものであります。

そのほかへき地教育を必ずやる教職員の身分の改善、生徒減少にもなる複式授業の改善、小中学校生徒の通学安全対策など、当地域における教育全般についての近代化を図つてまいりたいと存じます。

次に生活環境の問題であります。ご承知のとおり、すでに実施いたしております尿処理に引き続きまして、本年は広域市町村連合により北設業部を一本化とすべく「ごみ処理施設」を整備し収集車による各家庭の巡回を図つて一連の問題を解決するようになつております。

また、住民のみなさんに密接で特に重要な問題である水利計画について述べたいと思ひます。水利計画については町全体を一本化する水道計画は地域の特殊性から不可能でありま

生きた政治を念願し 実現に努力を

東栄町議会議長 片桐美治



町民のみなさま、明けましておめでとうございませう。希望に輝く昭和四十七年の新春を迎え

もの、まだまだ理想には遠く及ばず、前に述べたように水源地である山間地と都市との関係は、

ます。これを改善する具体策としては、すでに昭和四十五年に町の総合計画が策定された中に水道普及率九〇パーセント化を目標とした年度別事業計画が立案されて

具体的な計画は担当された課において順次お知らせいたしますが、いづれお知らせいたします。この使命は行政にあつては、

ら、その地域の住民のみならず、個人の方でもありません。まさにその使命は個々に等しい課せられており、私たちは一体化してこの問題に対処していくべき時であります。

でありませう。特に水については認識を深めて再開発のため総力をそそぎたいと存じます。

また、楽しい日常生活を過すなかでテレビの役割も大でありませう。二二年米NHKにおいては、

り、いわだ文化のパロメーター等について当事業が計画検討されております。特に水については認識を深めて再開発のため総力をそそぎたいと存じます。

また、長野県根羽村を含む北設五ヶ町村組合による尿処理場の設業町松戸に完成いたしました。ことに喜ばしい限りであります。

新しく迎えた四十七年度における主要事業といたしましては、町道の改良整備は勿論のことですが、東栄町発展の源である国道一五二号線の改良につきましては、着々と施工せられておりますが、本年は布川より古戸地区内の改修工事が二ヶ年計画で実施され、数年にして豊穡までの時間的距離の短縮が期待されます。中学校統合による校地造成工事、東栄病院継続工事、ごみ処理場の建設などが計画されておりますので、他の諸施策ともあわせ、私たちの現実に真に生きた政治を念願し、執行努力いたすところでございませう。町民のみなさまの格別のご理解とご協力によりまして、東栄町の発展を祈念し、あわせてみなさまの健康と幸福に満ちた年となりませうお祈り申し上げます。年頭のごあいさつといたした

地の利と人の和を得て

豊かな大愛知建設を



愛知県知事

桑原幹根

県民のみなさま、すがすがしい昭和四十七年の新春を迎え、心からお喜び申し上げます。

大いなる夢と期待をかけた一九七〇年代もすでにこれとして三年目に入り、県政も人間尊重を基本理念とした第三次愛知県地方計画にもつき、着実に進展しているでございます。

昨年、さいわいにも県民のみなさまのあたたかご理解と励ましにより、再び知事という重責をになうこととなり、心身ともより新たな気持で、しあわせな県民生活の実現をめざして県政に全力投球をしてみたいでございます。とりわけ、県民の健康を守る公害対策につ

いては、ただちに環境部の新設取締り、監視の強化、公害防除施設の整備、拡充などの一連の強力な施策の推進をはかってまいりました。そして、公書に関する調査、研究を行ない、情報、資料を提供する新しい公害調査センターや全国でも画期的な機能をもった環境保全センターが、あいついで事業を開始いたします。

また、交通安全対策については、七十億五千余万円の巨費を計上し、安全施設の整備など、抜本的な施策を強力にすすめてまいりました。おかげをもちまして県民みなさまのご協力により、一昨年に引き続き交通事故

の減少など、一応の成果をおさめたのでございます。さらには、県民のみなさまが健康で文化的な生活を築くための総合保健センターの完成、愛知青少年公園の整備、こどもの国・児童総合遊園の建設も一段と進み、新春早々に全国ではじめての緑化センターが着工され、また、心身障害者の福祉施設コロニーの設備も完了いたしました。

しかし、昨年の後半、国内の外にも大きな影響を受けていた、ドルショックによる激しい経済事情を反映して、ことしの県の財政はけつして楽観が許されず、事態を迎えているのでございます。だが、このような困

難な事態に直面したときにこそ県民のみなさまに、いっそうしあわせで豊かな生活を築いていただくため、公害、交通安全対策はいりましても、物価、教育、社会福祉の向上、中小企業の育成、農林漁業の振興など、あらゆる角度からきめこまかに取り組んでまいります。

さいわい、愛知県の地の利と人の和を得て、未来に限りない発展性を秘めているのでありまして、中部圏の開発整備とあわせて鉄道網の整備拡充、大伊勢湾の開発、大規模住宅団地の建設、そして地域開発の推進など、国家的な大事業の実現に大



愛知県議会議員

竹下喜兵衛

わが国にとりましても輝き昭和四十七年であらばならぬと、日々願うのであります。昨年七月十五日のニクソン声明による我国産業界に及ぼした影響は、まことに激しいものがあります。東京、大阪に次ぐ県と、自他共に許されているのが愛知も、対外貿易の二分の一はアメリカでありますだけに、県財政への影響も極めて大きく、本年度当初の一般会計予算の六月、九月、十二月の定例議会に計上せられた修正予算にも、県税の歳入面への計上は一切見込まれておりません。繊維、陶磁器、鉄鋼等の産業が、自動車産業の他、揃って先行き悪しであります。

また、変転極まりない世界状況とはいいながら、中国の国連加入、アジア中近東の政情不安等は、我が国経済に及ぼす影響も微妙であり、ひいては地方経済、地方自治に波及する面が極めて大きなものと思っております。

きな期待がかけられているのでございます。ことしは、明治五十年に愛知県が誕生してから、ちょうど百年目にあたります。偉大な私たちの祖先が築きあげた一世紀にわたる愛知の歩みも、県民のみなさまともどもにふりかえりながら、豊かな大愛知建設のためにさらさら県政二百年へスタートする第一歩の年、意義ある年にしたいものと念願するしだいでございます。

希望に満ちた昭和四十七年の年頭にあたり、愛知の前途、県民のみなさまのご多幸をお祈り申し上げ、年頭のごあいさつといたします。

一方、昨年の天皇皇后陛下下の欧州親善ご旅行や、国民待望の沖繩の平和復興が果たされる協定が、日米両国に於て成立せられたことや、山陽新幹線の岡山までの工事完了、新潟、盛岡への新設起工及び本年二月開催の世界冬季オリンピック施設完成等、わが国の歴史にその輝かしき前進への年でもありました。あれもこれもと交差する社

オトソ談議

一年の出発は心身ともに清新な気分でありたいものです。物質文化の豊かさに、ともすると安逸な日々慣れ、情性に流れがちですが、人間にけじめが必要で、若木が年輪を重ね、大地にしっかりと根を張った大樹となるように、自分の年輪に対する自覚が、将来の大きな実りとなるので、

謹んで新年のおよろこびを申し上げます

本年もどうぞ町内加盟店を一層お引立てくださいますよう心からお願い申し上げます

東栄町商工会



成人式

こぞつて祝福を計画

一月十五日は成人の日、「おとなになったことを自覚し、みづから生きぬこう」とする青年を祝い「励まし」国民の祝日です。東栄町においてもこの趣旨にそって、この成人の日には、新しく二十歳になった若人たちが、奥三河青年の家「東栄荘」に招いて、意義あるそして壮麗な成人式を行ない、町民こそぞつて国旗を掲げ、心から祝福するよう計画しています。

成人式は心身ともに清新な気分でありたいものです。物質文化の豊かさに、ともすると安逸な日々慣れ、情性に流れがちですが、人間にけじめが必要で、若木が年輪を重ね、大地にしっかりと根を張った大樹となるように、自分の年輪に対する自覚が、将来の大きな実りとなるので、

地区別成人者数

地区別	性別	
	男	女
御殿	12名	19名
本郷	17	21
下川	12	10
園	9	12
三輪	6	5
草振	9	8
計	65	75



愛知県警署長
立石弘司

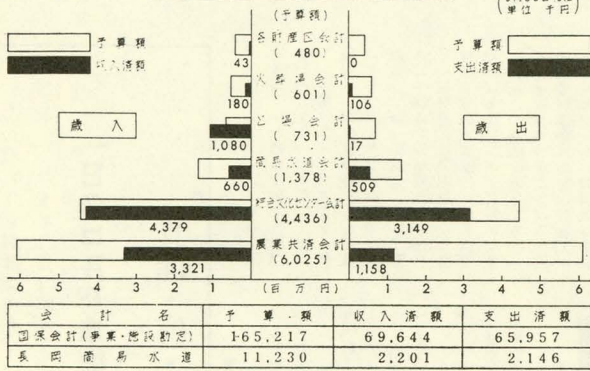


愛知県議事務所長
熊谷利男

東栄町の財政状況

昭45年度決算 昭46年度上半期

昭46年度特別会計収支状況



公 有 財 産

(昭和45年度末現在)

1. 土地および建物

区 分	土 地	建 物		
		木 造 (延面積)	非 木 造 (延面積)	計 (延面積)
		決算年度末現在高	決算年度末現在高	決算年度末現在高
庁舎	4,886.5㎡	74.3	407.9	482.2
公用財産	93,214.0	15,874.0	3,921.0	19,195.0
警察その他	589.8	423.5	64.8	423.5
合 計	133,745.3	25,919.6	4,732.8	30,652.4

2. 有価証券

区 分	決算年度末現在高
電信電話債券	235,980円
森林組合出資証券	510,000
県造林公社出資金	50,000

3. 町有林

面 積	立 木 蓄 積 量	
	用 材	雑 木
132.8ha	6,401㎡	1,096㎡

債 権

1. 貸付金

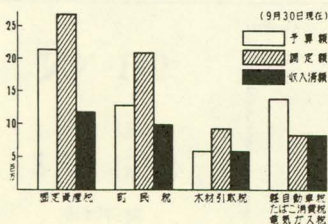
区 分	決算年度末現在高
要知県造林公社貸付金	130,980円

基 金

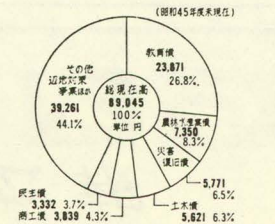
名 称	決算年度末現在高
財政調整基金	25,724,000円

町 税 収 納 状 況

(9月30日現在)



2. 借入金現在高(昭和45年度末現在)



財政の動向と方針

東栄町長 原田嘉美

本町の財政を昭和四十五年度決算からみると、まず歳入面では、自主的財源(町税など)の伸び幅に伴い、地方交付税や国・県支出金といった財源への依存度は全体の六五割(前年度六四割)と年々高まっております。一方、歳出においては、諸物価の上昇と給与改訂などにより経常的経費は年々増加の一途をたどる現況にあり、財政運用は年々とも硬直化の傾向が強くなっております。このため、事業面への圧迫などの影響が考えられますので、今後は経常的諸経費の節減を図り、投資的経費は綿密にして実効ある計画のもとに事業を推進するなど健全な財政運用の必要を痛感いたします。したがって、この面を全期を期すとともに、行政において国・県の諸施策とも対応し、最少の経費で最大の効果をあげるべく努力し、住民福祉向上のため教育・土木・産業・民生などあらゆる分野に、積極的に施策を推進して町の発展を図る方針であります。町民のみならず、町財政の実情をご理解いただき、今後いっそうのご協力を願います。(註、昭和四十五年度一般会計決算の状況は、先月号で紹介したのでここでは省略します。)

地方自治法および東栄町財政状況の公表に関する条例の規定により、昭和四十五年度決算の状況ならびに昭和四十六年四月一日から同年九月三十日までの期間における町の財政状況を見ますと次のようであります。

昭和45年度東栄町特別会計歳入歳出決算総括表

(単位円)

会計別	区 分	歳入歳出		歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出
		予 算 額	算 外 額			
国特別	国 庫 事 業 勘 定	75,757,000		75,064,566	69,764,334	5,300,232
民健康保	東 栄 病 院 事 業 勘 定	83,653,000		75,860,430	74,689,838	1,170,592
険 会 計	同 富 山 村 診 療 施 設 運 営 費	4,775,000		3,247,432	3,247,432	0
計	計	163,185,000		154,172,428	147,701,604	6,470,824
と 場 特 別 会 計		741,000	1,253,000		351,535	901,467
本 郷 簡 易 水 道 特 別 会 計		1,954,000	1,965,527		1,779,790	185,737
長 岡		13,457,000	13,455,000		13,254,390	200,610
御 殿 財 産 区 特 別 会 計		180,000	1,375		0	1,375
本 郷		6,000	818		0	818
下 川		8,000	6,540		0	6,540
園		4,000	2,876		0	2,876
三 輪		3,000	1,200		0	1,200
振 草		3,963,060	3,915,555		3,899,110	16,445
中 設 築		122,000	60,203		46,000	14,203
農 業 共 済 事 業 特 別 会 計		6,001,000	6,100,161		6,001,000	1,488,822
火 葬 場 特 別 会 計		536,000	595,537		521,431	74,106
総 合 文 化 セ ン タ ー 特 別 会 計		4,935,000	4,996,365		4,685,486	310,879
合 計		195,095,000	186,526,587		176,850,685	9,675,902

昭和46年度東栄町一般会計収支状況

(昭和46年9月30日現在)

款 別	歳 入			歳 出	
	本 子 算 額	調 定 額	収 入 済 額	本 子 算 額	支 出 済 額
町	55,000,000	64,585,116	36,823,291	8,503,000	3,753,092
自動車取得	10,000,000	3,029,000	3,029,000	64,982,000	26,476,854
交付金	152,982,000	117,423,000	117,423,000	40,046,000	12,058,833
地方交付金	5,089,000	2,436,475	2,107,300	13,143,000	5,135,547
負担金	1,937,000	841,030	841,030	111,537,000	3,839,160
使用料	66,187,000	132,000	132,000	24,355,000	1,539,463
手数料	71,772,000	342,493	342,493	63,157,000	15,468,326
国庫支出金	2,836,000	910,566	910,566	12,884,000	3,035,389
県支出金	5,971,000	825,806	825,806	78,030,000	36,469,716
財産収入	50,000	0	0	13,138,000	3,371,903
繰入金	12,695,000	12,695,377	12,695,377	11,642,000	5,016,965
繰越金	8,721,000	2,661,062	2,661,062	1,173,000	0
雑収入	48,900,000	0	0	0	0
町債	442,590,000	205,881,925	177,790,925	442,590,000	116,165,248
歳入合計					

物 品

区 分	決算年度末現在高	区 分	決算年度末現在高
乗 用 車	1台	大 型 電 気 リ コ ピ ー 複 写 機	1台
小 型 貨 物 自 動 車	4台	騰 写 フ ァ ッ ク ス	1台
ジ ー プ	1台	電 子 リ コ ピ ー	1台
マ イ ク ロ バ ス	1台	電 子 計 算 機	1台
行 政 用 無 線 機	1台	原 動 機 付 自 転 車	3台
消 防 用 無 線 機	1台	小 型 動 力 ポ ン プ 付 積 載 車	1台
リ コ ピ ー 複 写 機	1台		